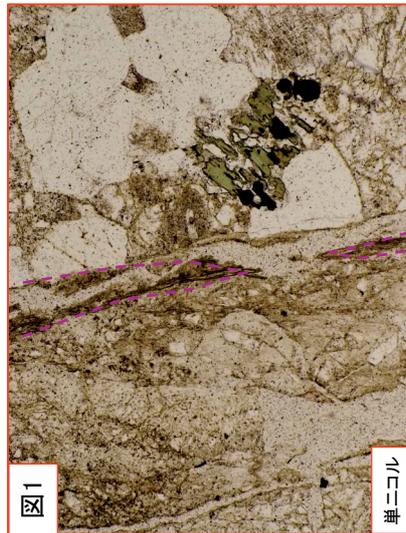
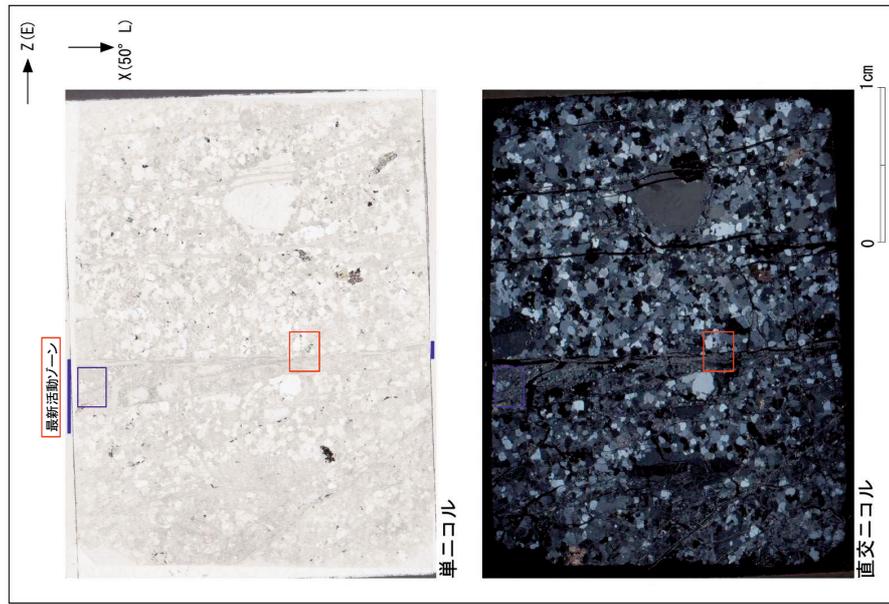
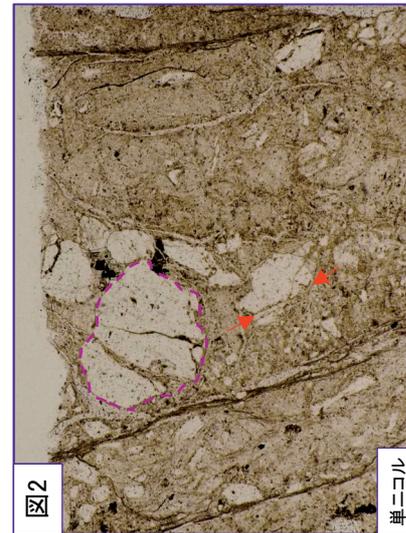
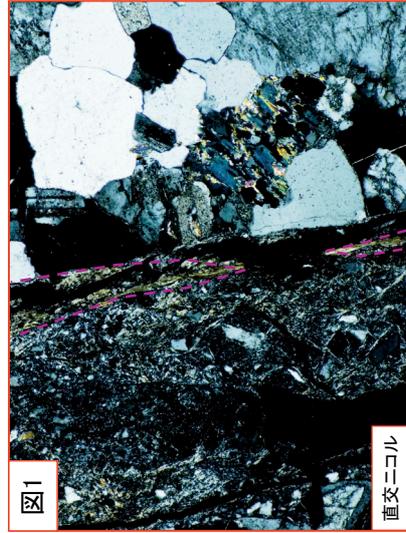


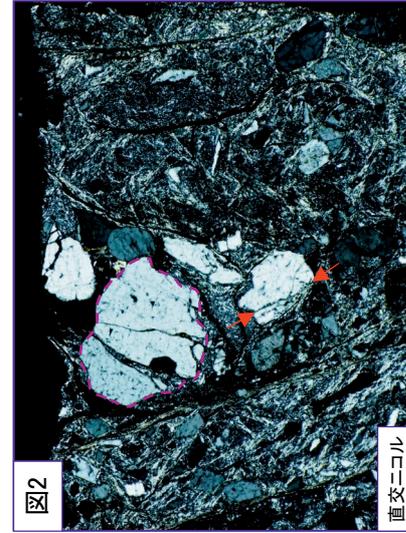
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
  - 基質を構成する粘土鉱物は少ない。(図2)
  - 断層面に沿った粘土状部は連続しない。(図1)
  - 多様な粒径の岩片が多く認められる。(図2)
  - 角ばった岩片が多い。(図2)
  - 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図2)
  - ジグソー状の角礫群が認められる。(図2)



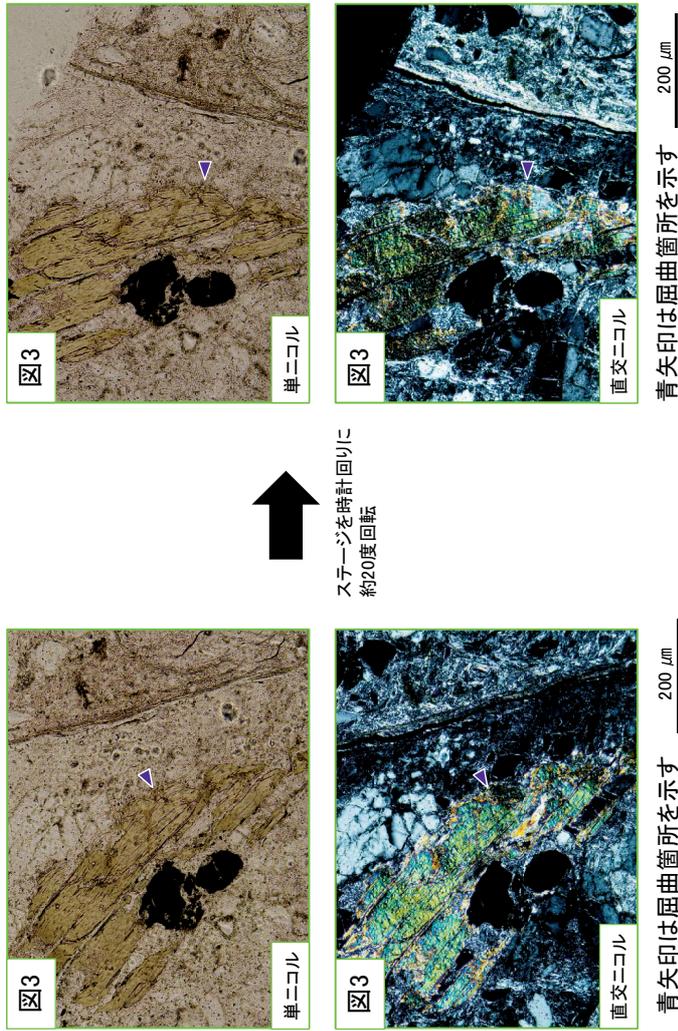
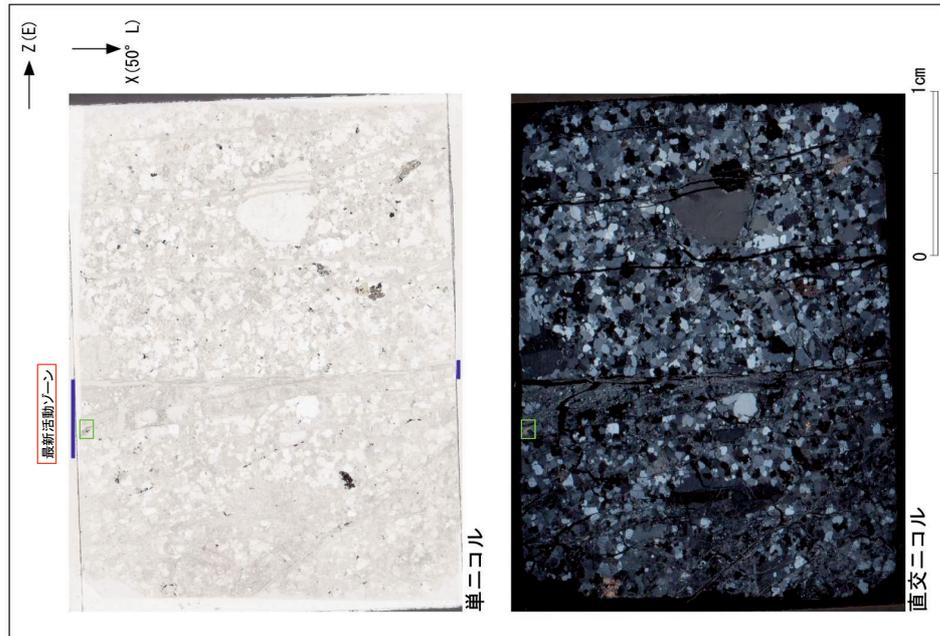
破線は粘土状部の分布範囲を示す



赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す  
破線はジグソー状の角礫群の範囲を示す



・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。  
 > 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。(図3)



青矢印は屈曲箇所を示す

青矢印は屈曲箇所を示す

(肉眼観察結果 深度64.80m)

- 肉眼観察では、幅1～3mmの灰～灰白色シルト部は、直線的に分布し、幅が狭いため、原岩組織が認められる岩片を主体とし基質も細粒化した岩片からなる組織の有無を把握できなかったが、硬質であるためカタクレーサイトであると判断した。

(観察位置)

- 薄片試料は、肉眼観察により認定した断層面βに沿って最も細粒化した部分を含み、人為的な試料の乱れの無い部分で作製した。

※断層面βは最新活動面

(薄片観察結果)

- 薄片観察では、以下の通り断層ガウジの特徴が認められなかった。

- 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- 断層面に沿った粘土状部は連続しない。

- 薄片観察では、以下の通りカタクレーサイトの特徴が認められた。

- 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- 角ばった岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
- ジグソー状の角礫群が認められる。
- 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。

以上より、薄片観察結果では、最新活動ゾーンの細粒部をカタクレーサイトであると判断した。



(総合評価)

当該破砕部については、以下の理由からカタクレーサイトであると評価した。

- 肉眼観察で確認された幅1～3mmの灰～灰白色シルト部は、その特徴からカタクレーサイトであると判断した。
- 薄片観察で確認された最新活動ゾーンの細粒部は、その特徴からカタクレーサイトであると判断した。

断層ガウジ・断層角礫の有無	断層ガウジ・断層角礫の幅[cm]	明瞭なせん断構造・変形構造*
無	-	-

\*：断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「有」の場合は肉眼観察結果を記載。

断層岩区分の総合評価で断層ガウジ・断層角礫の有無が「無」の場合は「-」と記載して括弧内に肉眼観察結果を記載。

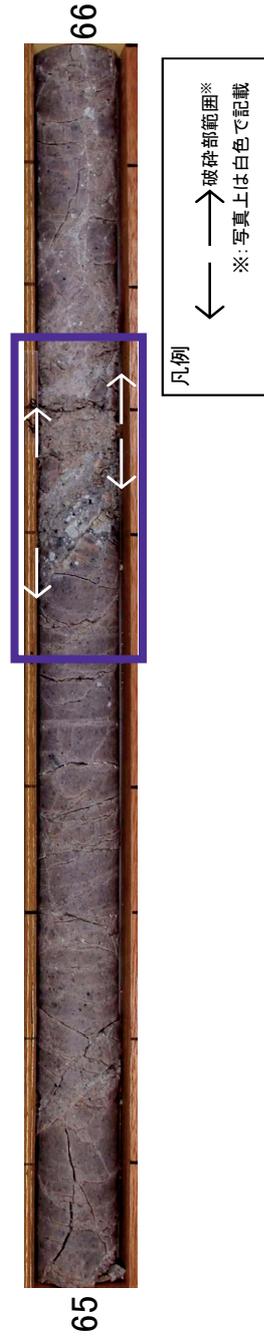
・深度65.59～65.72mの「粘土混じり砂～礫状」と記載の箇所については、軟質であるが、含まれる細粒部は局所的に分布し、連続性及び直線性に乏しく、原岩組織が認められる岩片からなる組織も細粒化された岩片からなる組織も認められる。これらのことから変質したカタクレーサイトであると判断した。

・深度65.65mの「幅2～3mmの灰白色粘土」と記載の箇所については、幅が狭いため、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織の有無を把握できなかった。粘土は軟質で、直線性は良いが、部分的で連続性に乏しい。これらのことから変質したカタクレーサイトであると判断した。含まれる細粒部は、変質したカタクレーサイト中の粘土脈である。

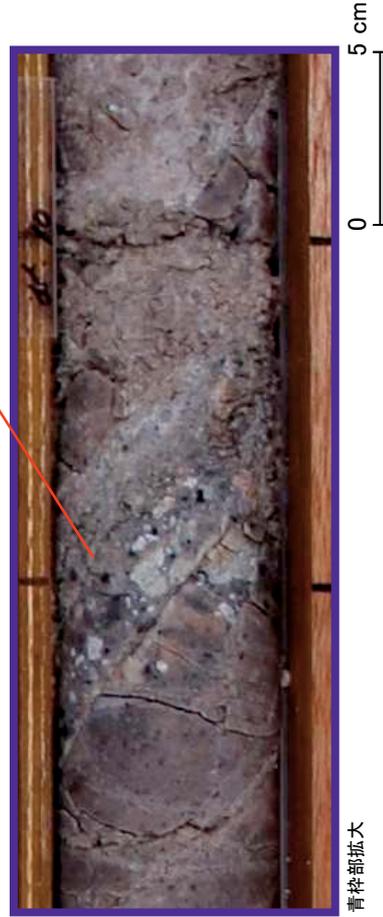
ボーリング柱状図

●65.59～65.72m：破砕部  
粘土混じり砂～礫状部 (Hj)  
上端65°で直線的に連続、下端30°で不明瞭。径2～30mmの岩片主体で、一部砂状化する。灰色を呈する。幅10mm。65.65mには傾斜65°で幅2～3mの灰白色粘土を部分的に挟む。

コア写真

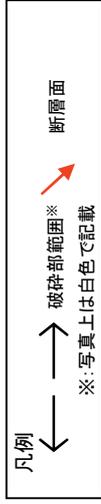
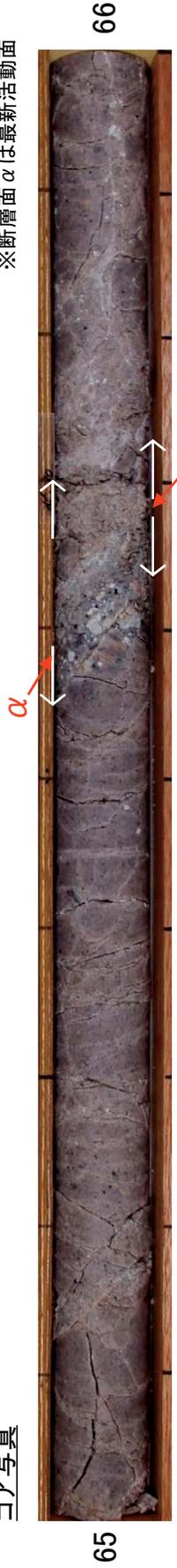


深度65.65mの部分的な灰白色粘土

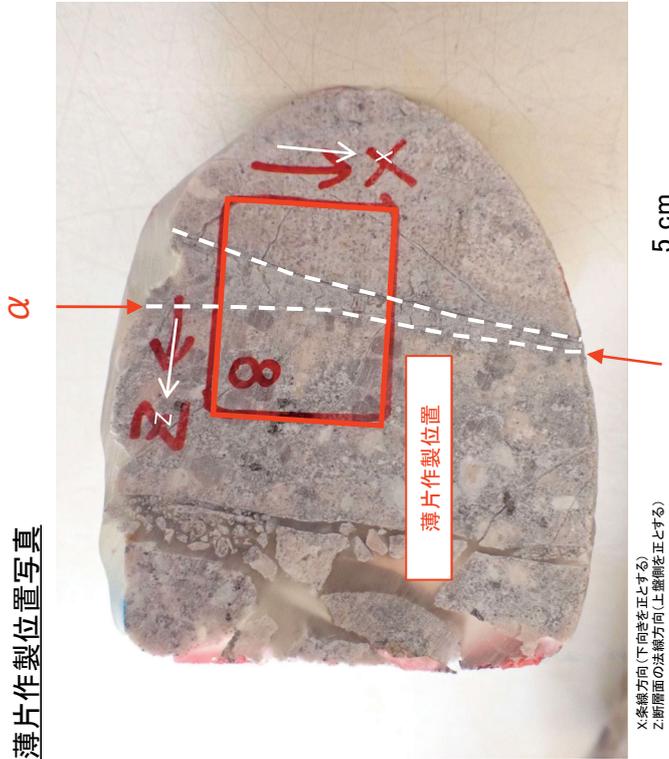


・薄片は断層面  $\alpha$  及びび細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。

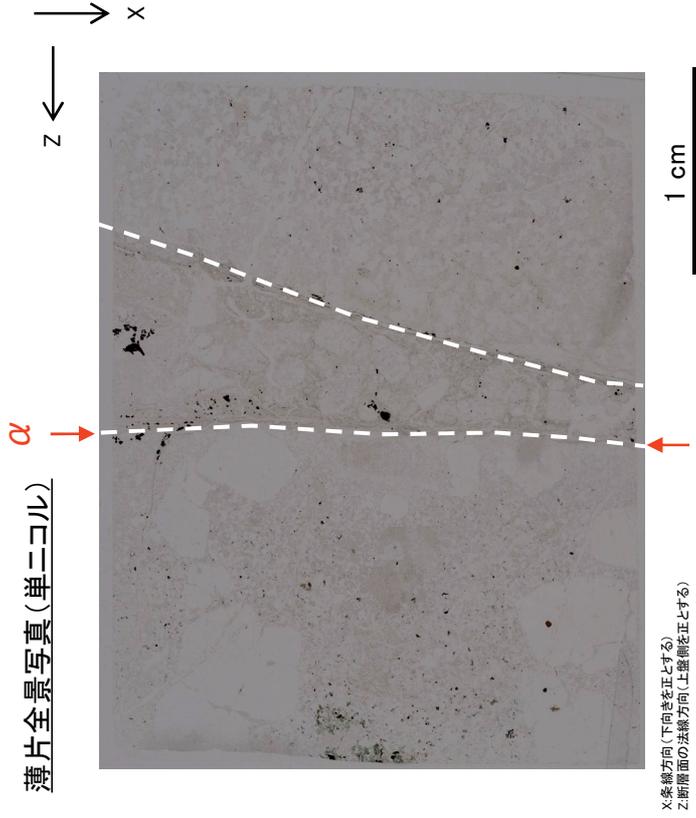
コア写真



薄片作製位置写真

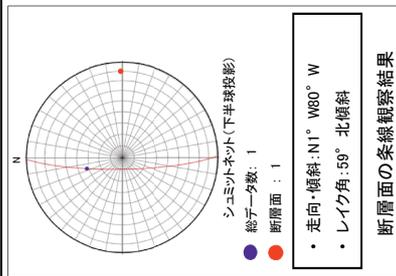


薄片全景写真(単ニコル)

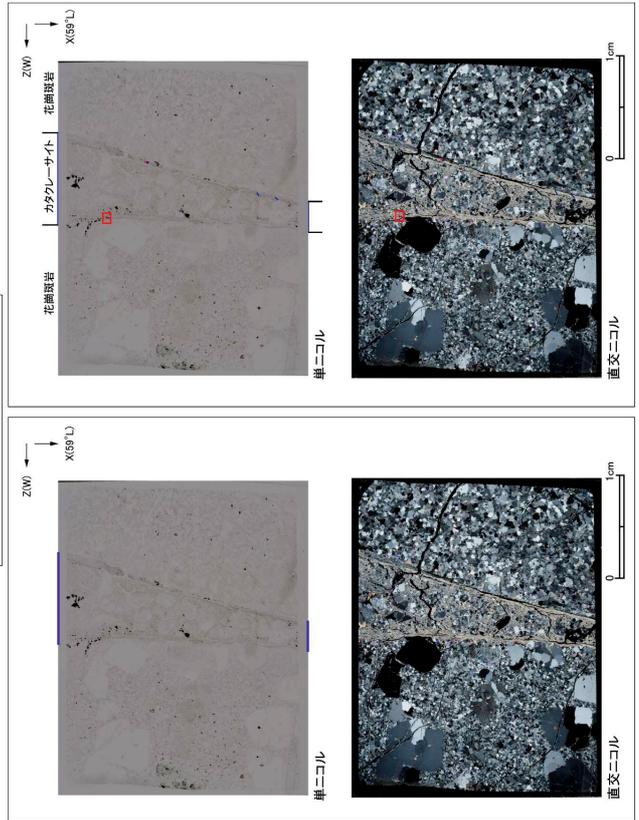


・H27-B-4のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、右ずれを伴う正断層成分が卓越する。  
 ・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。

- (カタクレーサイト) 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- (カタクレーサイト) 断層面に沿った帯状の粘土状の岩片は連続しない。
- (カタクレーサイト) 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- (カタクレーサイト) 角ばった岩片が多い。
- (カタクレーサイト) 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
- (カタクレーサイト) ジグソー状の角礫群が認められる。
- (カタクレーサイト) 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



断層面の条線観察結果



※断層面  $\alpha$  は最新活動面

